

滋 農 技 セ 第 234 号
令和 4 年 (2022 年) 7 月 12 日

関係機関の長 様

滋賀県農業技術振興センター所長
(公 印 省 略)

令和 4 年度二番茶実収について (報告)

このことについて、別紙のとおり報告します。

担当 : 滋賀県農業技術振興センター
茶業指導所 松本 敏幸
TEL 0748-62-0276
FAX 0748-62-7095

令和4年度二番茶実収報告

滋賀県農業技術振興センター茶業指導所

1. 摘採日

本年	前年	前5か年
6月30日	6月24日	6月27日

2. 生葉収量 (kg/10a)

本年		前年		前5か年	
収量	指数	収量	指数	収量	指数
564 ± 111	137	329 ± 55	80	412 ± 37	100

3. 百芽重 (g)

本年		前年		前5か年	
重量	指数	重量	指数	重量	指数
41.6 ± 4.5	100	34.0 ± 3.0	81	41.7 ± 3.4	100

4. 新芽数 (本/m²)

本年		前年		前5か年	
芽数	指数	芽数	指数	芽数	指数
1104 ± 147	114	1204 ± 236	125	965 ± 120	100

5. 出開度 (%)

本年	前年	前5か年
63	67	68

6. 気象表

項目・年次 月・旬	平均気温 (°C)			最高気温 (°C)			最低気温 (°C)		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
5月 中旬	16.8	18.4	16.6	22.1	22.5	22.9	11.9	14.5	11.0
	19.5	18.1	18.3	26.3	23.9	24.2	13.7	13.1	13.0
6月 中旬	19.2	21.1	19.6	25.4	27.5	25.3	13.6	15.4	14.5
	20.7	21.4	20.8	25.6	26.0	25.6	16.7	18.0	16.6
	26.2	22.0	22.2	32.2	27.7	26.8	21.1	17.3	18.4

項目・年次 月・旬	降水量 (mm)			降水日数 (日)		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年
5月 中旬	36.0	72.0	57.1	3	7	4.5
	35.0	104.0	43.5	7	4	3.8
6月 中旬	44.5	29.5	33.3	2	1	3.1
	19.0	58.5	69.2	4	7	5.0
	80.0	19.5	75.8	4	6	5.4

7. 供試園の条件

品 種	定植年次	栽植密度	樹高	株張り	その他
やぶきた	平成2年3月 (32年生)	180cm×30cm	80cm	150cm	防霜ファン設置圃場

年間施肥成分量 (kg/10a) N:53.3 P₂O₅:13.0 K₂O:19.0

8. 概況

1) 気象

二番茶芽の生育期において、平均気温は平年並み～かなり高く推移した。降水量は、6月中旬は少なかったが、5月中旬～6月下旬のその他の時期は平年並であった。また、本年の梅雨入りは6月14日で平年よりも8日遅く、梅雨明けは6月28日で平年よりも21日早かった。梅雨の期間は14日間となり、統計開始(1951年)以来、最も短い期間となった。

2) 生育

本年は、5月下旬と6月下旬の平均気温は平年よりも高く推移したが、6月中旬に降水量が極端に少なかったことから二番茶芽の生育が抑制され、前5か年平均より3日遅い6月30日となった。また、一番茶摘採日から二番茶摘採日までの日数は55日と、前5か年平均より5日長かった。

本年の摘芽状況は、百芽重が前5か年平均の100%、新芽数が同114%となり、生葉収量は564kg/10aと前5か年平均の137%であった。

3) 県内の状況

二番茶の摘採始めは、平坦地で6月15日頃、山間地で6月20日頃と平年より5日程度早かった。平坦地、山間地ともに新芽生育が抑制され、やや減収傾向であった。

4) 病害虫の発生

チャノミドリヒメヨコバイの発生が多く、茶園の一部で新芽の生育抑制が見受けられた。